

株式会社増田鉄工所

静岡県富士市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

顧客第一と言う創業者精神を守り、顧客が満足を得られる高品質の製品を提供

- 一体化構造により、製造工程・部品点数を削減し、納期の短縮化も実現
- 定期訪問等を通じて顧客のニーズに耳を傾け、新たな需要をつかみ取る
- 人間ドッグのように量産金型の状態を定期的に診断し、早期の改修で生産の効率化とリスク管理を図る

企業基本情報

所在地	静岡県富士市大淵字横沢 2457-1
電話/FAX	0545-35-3156/0545-35-3141
URL	www.masutetu.co.jp
代表者	代表取締役 増田 弘
設立	1952年
資本金	2,000万円
従業員数	60人



会社概要

同社は、自動車内外装部品用各種プレス金型及び専用機・治工具の設計・製造企業で、これまでに蓄積した膨大な「型づくりのノウハウ」をコアとし最新鋭の設備と卓越した技術、社員一人ひとりの可能性を最大限に引き出しながら、刻々と変化するニーズに対応した製品を提供している。特に車の内装部品用金型については客先より好評を得ている。又治工具においては「カウントマイスター」（員数管理装置）という特許製品があり東北～九州、海外へとその活躍の場を広げている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 複雑な金型を一体化構造にし、安価で高品質の金型を製造

製造する金型を固定したままで、あらゆる角度から切削できる装置を開発することで、ばらばらに金型をつくらなくても、一体で生産できるようにしている。又、切削工具も特殊なものを使い、新工法と合わせる事により、効率化を図った。

一体構造により、製造工程・部品点数が減り、受注価格を最大3割削減、納期も大型製品で半月から1ヵ月短縮可能となった。

部品のつなぎ目をなくせるため、接続部のズレやバリも未然に防げ、精度の向上が高まった。



金型革命5ダウン

▶▶▶ 顧客の声に耳を傾け、新たな需要をつかみ取る

同社では、依頼主の工場の稼働状況に合わせて補修を手掛けるため、土日の作業での対応やお盆やお正月など、生産ラインを止めやすいタイミングで企業の要望に対応している。部品メーカーは複数の会社の金型を使っていることが多く、金型業界では、自社製品しか補修を受けないのが一般的であるが、例えば、既に倒産した企業の金型を使っている場合でも依頼主の要望に応じている。また、同社は定期的に訪問することで、新規顧客と既存顧客の両方に対し、より手厚いサポートを行っている。



金型ドック作業

▶▶▶ 「金型ドック Best コンディション」の設置

人間でいう「人間ドック」と同じように同社においては「金型ドック Best コンディション」を設置、金型のお医者さんとして活動している。金型は使用によって傷みや磨耗などの不具合が生じる。傷みが進めば金型メーカーに戻して補修する必要も出るが、早期の段階であれば工場現場で対応が可能である。早めの対応によって金型が破損して生産ラインを止めるリスクも回避できるため、人間ドックのように量産用金型の状態を定期的に診断し、早期の改修で生産の効率とリスク管理を図っている。



金型ドック Best コンディション